

# 来週の『売り物』記事はこれ



2015年5月22日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

## 日仏を結ぶ無私の慰霊 異国に眠る男たちが紡いだ絆

24 (日)



軍港の町として知られるフランスのブレスト。旧市街の墓地に約1500基の十字架が並んでいます。その一面に、日本人の五つの墓標があります。ブレストに近い海域で沈没した商船「永田丸」の乗組員のものです。第一次大戦当時、日仏両国は連合国側で戦いました。食糧不足のフランスに米を届けるため、船は神戸を出港。目的地寸前でドイツ潜水艦に撃沈されたのでした。開戦から100年の昨夏、現地で永田丸の追悼式があり、主催者は言いました。「私たちの国もあなた方の国も死者を思いやる気持ちは同じ」。実は、あまり知られていませんが、中国の義和団の乱で客死した仏兵のお墓が長崎にあります。二つの墓標を巡る人々を訪ねると、日仏の知られざる交流と不思議な縁が浮かんできました。

日曜朝は『S』で始まるー。ストーリーにご期待下さい。

### 「梅雨ニモマケズ」 くらしナビ面29日(金)から3回

梅雨の季節を迎え、日常生活でできる梅雨との付き合い方を「衣食住」から考えます。「食」では、食品を長持ちさせるための食材の保管場所や包み方の工夫、お弁当を傷めないための注意点を紹介。「住」では、風呂場のほか、部屋や押し入れなどにも発生するカビの防止法や除去法を披露します。「衣」では、洗濯物の臭いを防ぐための洗い方、干し方を伝えます。



### 女の気持ちをたずねて おんなのしんぶん 25 (月)



静岡県藤枝市の水原浩子さん(51)は、今年2月、妹のゆう子さんを49歳の若さで亡くしました。卵巣がんが見つかったのは、一昨年秋。ちょうど浩子さんも体調を崩して仕事を辞めたころでした。そのころからゆう子さんは浩子さんに家をよく訪ねて来るようになったといいます。

亡くなる前夜、ゆう子さんは病院のベッドでこう漏らしました。「浩子ともっと遊びたい」。姉妹の心のふれあいを、野沢和弘論説委員がつづりました。

### 住・マンションの地震対策 くらしナビ面26日(火)

東日本大震災以降、マンションに住む人たちの間で地震対策への関心が高まっています。地震の際、マンションは揺れが大きくなるため、家具の配置に配慮が必要です。一方、マンションは耐震性や耐久性が高いため、避難ではなく自活する選択肢があり、そのための食料備蓄のコツも紹介します。また、住民同士が普段からどうやって連携を取るかも大切です。



## インサイド 「W杯連覇へ なでしこ開花のとき」

26日(火) 朝刊から3回

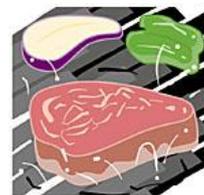


6月6日(日本時間7日)に開幕するサッカーの女子ワールドカップ(W杯)カナダ大会。前回ドイツ大会(2011年)で優勝した日本代表「なでしこジャパン」は、連覇を目指してピッチに立ちます。追われる立場となった、なでしこの4年間の歩み、代表23人中17人は前回大会経験者で洗練された戦術、取り巻く環境の変化に危機感を募らせる選手ら……。日本は1次リーグC組で、6月8日にスイス、12日にカメルーン、16日にエクアドルと対戦します。前回大会最優秀選手で6大会連続出場の澤穂希選手(36)らを中心とした、なでしこのW杯直前の現状をレポートします。

## 肉ブームが来た！ なぜ今？ 人気の秘密を探る

夕刊2面特集ワイド 25日(月)

ちまたでは今、空前の「肉ブーム」となっています。街中には「熟成肉」や「ジビエ料理」をうたう料理店が増え、大型連休中に首都圏で開かれた肉料理のイベント「肉フェス」には全国から93万人もの人たちが集まりました。「霜降り」に代わって「赤身肉」が人気を引っ張っているようですが、なぜここまで人気が広がっているのでしょうか。「まいう〜」でおなじみのタレント、石塚英彦さんや専門家らのガイドを受けながら、人気の秘密を探りました。



## 論点 ドローン規制、どうあるべき？

オピニオン面 29日(金)



くいま、一つの妖怪が日本の上空を野放図に飛び回っている。「ドローン」という名の小型無人機が……。おどろおどろしく書けばそんな感じでしょうか。連日のように紙面をにぎわす「ドローン」の文字。首相官邸の屋上に落下しているのが見つかって以降、ドローンをめぐる騒ぎが続いています。つい最近も、浅草の三社祭で飛行を予告した少年が威力業務妨害容疑で逮捕されました。そうしたなか、ドローン規制の立法化に向けた動きは加速しています。一方で「国の過度な介入は新しい技術を萎縮させる。やりすぎだ」という声も上がります。私たちはドローンとどう立ち向かえばいいのでしょうか。規制推進派、慎重派、中間派——3人の識者の話に耳を傾けました。

「知りたい」が分かる。

オピニオン面にご注目ください。

## 新・資本主義入門

朝刊文化面 30日(土)

第5土曜は、いま起きているさまざまな現象を経済の視点から第一線の研究者にインタビューし、読み解いてもらう「新・資本主義入門」を掲載します。今回のテーマは「なぜ大阪は『停滞』したのか」。住民投票で否決された大阪都構想を糸口に、大阪市立大名誉教授の塩沢由典さんが、背景にある工業化の限界や一極集中を指摘し、あるべき都市経済の像を探ります。

